

◆受講料：2,000円

※ 東日本大震災被災地沿岸部市町村(下記記載)の学童保育指導員の受講料は、全国各地の学童保育関係者からの「東日本大震災学童保育支援義援金」にて援助しますので無料となります。  
対象市町村の学童保育指導員の方でも、受講料をお支払いいただける方にはお願いします。

岩手県：宮古市・久慈市・大船渡市・陸前高田市・釜石市・岩泉町・洋野町・山田町・大槌町・野田村・田野畑村・普代村  
宮城県：仙台市・石巻市・気仙沼市・名取市・東松島市・塩竈市・多賀城市・岩沼市・利府町・亶理町・山元町・南三陸町  
七ヶ浜町・松島町・女川町  
福島県：いわき市・田村市・南相馬市・相馬市・浪江町・新地町・富岡町・大熊町・楡葉町・双葉町・広野町

◆申込み方法：10月26日(金)締切 それ以降は当日受付

受講料とお弁当代(必要な方のみ)を下記の口座に送金し、その控えのコピーと参加申込書を郵送またはFAXで送信してください。

\*当日受付の場合、ご希望の講座を受けられない場合があります。

また、お弁当と保育は事前申し込みのみです。

◆申込み・問合せ先：宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5 みやぎNPOプラザNo.17

Tel：090-3642-4327 Fax：022-256-0533

メール：miyagi\_gakudou0311@yahoo.co.jp



◆振込先：ゆうちょ銀行

記号：18140 番号：19587641 全国学童保育指導員学校東北会場準備会

※他の金融機関から振り込む場合は、

店名：一八一(イチハチイチ) 店番：818 口座番号：普通預金 1958764

◆お弁当：800円(事前申し込み) \*近隣にコンビニや飲食店はありません

◆保育室：3歳以上。事前申込みのみ。保険料とおやつ代の実費を当日いただきます。

◆受講票：受付後受講票を送ります。当日ご持参ください。(受講票は領収書となっています)

◆指導員学校に関する問い合わせ先：全国学童保育連絡協議会：03-3813-0477

当日問い合わせ先：090-1930-4908(宮城県学童保育緊急支援プロジェクト)

◆会場：宮城学院女子大学 仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1-1

【車でご来場の方】

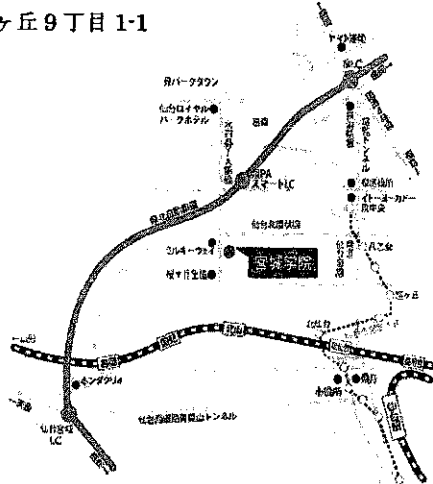
大学正門の守衛の指示に従ってください。

できるだけ乗り合わせてお出でください。

【公共交通機関ご利用の方】 バス代 340円

宮城交通バス：仙台駅前～「宮城学院前」下車

発時刻	着時刻	のりば	行き先
8:45	9:15	2	宮城大学
8:55	9:21	2	地下鉄泉中央駅
9:05	9:28	2	宮城大学
9:15	9:46	3	宮城学院前
9:25	9:47	2	泉アウトレット
9:35	9:59	3	宮城大学



第37回

全国学童保育指導員学校

東北会場 in 宮城



とき：2012年11月3日(祝)

ところ：宮城学院女子大学

宮城県観光PRキッズ  
むすび丸 24155号

昨年の東日本大震災で大きな被害を受けた東北各地では、震災の経験を通して子どもたちにとっていかに学童保育の存在が大切であるかが再認識されています。また、家庭や地域が不安定な状況の中で、子どもたちが安定した生活を取り戻すためには、これまで学童保育関係者が積み上げてきた、打ち合わせに始まる日々の指導員の仕事の在り様、生活づくり、子どもたちを深くとらえる視点、保護者や地域学校との関係づくりなどがいかに重要かが、見直されています。

学童保育は、働きながら子育てするうえでなくてはならない施設です。

いま、学童保育数も入所児童数も増えています。学童保育で働く指導員も増えています。どのように子どもたちの生活をつくるのか、子どもたちの願いと状況をふまえて、子どもたちが安全でいきいきとした生活が送れるよう、学童保育と指導員の仕事・役割について、学び交流しましょう。

学童保育の拡充・内容向上がすすむように、保護者や行政の方も一緒に学びませんか。ぜひお問い合わせでご参加くださるようお願いいたします。

主催 全国学童保育連絡協議会

岩手県学童保育連絡協議会・山形県学童保育連絡協議会

福島県学童クラブ連絡協議会・仙台市学童保育連絡協議会

後援 宮城県、仙台市、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県 ほか

◆日程 9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

受付	全体会	昼食	講座
----	-----	----	----

◆全体会 10:00~12:00

- 基調報告 全国学童保育連絡協議会
- 全体講義

「こどもの毎日の生活を保障する指導員の仕事の大切さ」

講師・佐藤秀明 (NPO 法人ここねっと発達支援センター)



ここねっと発達支援センター理事長。  
 特別支援教育士スーパーパイザー・認定上級教育カウンセラー。  
 宮城県内の高等学校～中学校、特別支援学校教諭を経て現職。  
 発達障害や災害時の子ども支援に関する講演や教育相談～生徒指導～  
 学習支援等で全国各地で活躍している。

おむすび

参加申込書 第37回全国学童保育指導員学校・東北会場

氏名	ふりがな	女・男	指導員 ( ) 年日
			保護者 その他 ( )
所属学童保育クラブ	クラブ名	受講票送り先	自宅・職場 (いずれかを○で囲んでください)
	県・市町村名		〒
	電話番号		電話番号
講座	第1希望 講座	第2希望 講座	第3希望 講座
弁当希望 要・不要	保育を必要とするお子さんについて ( ) 歳 (男・女) (名前・愛称)		
保育希望 要・不要	( ) 歳 (男・女) (名前・愛称) 特記事項		

★  参加費 2,000円  弁当代 800円 合計( )円を添えて申し込みます。

★ 被災地沿岸市町のため  申込書のみ  弁当代 800円 を添えて申し込みます。

ご記入いただいた情報はこの集会に関する業務のほか、各種受講案内にのみ利用させていただきます。  
 全国学童保育連絡協議会の個人情報保護方針に基づき、本人の許可なく第三者への提供は行いません。

◆午後の講座 13:00~16:00 (☆印は、東日本大震災に関連する内容を含む)

<p><b>講座1 学童保育とは — 学童保育の役割、指導員の仕事</b></p> <p>働く親の切実な願いで生まれた学童保育。子どもたちが学童保育を、「家庭に代わる毎日の生活の場」と実感できることが基本です。子どもにとって学童保育はどういう施設でなければならないのか、どのような学童保育の生活をつくってあげればよいのか。放課後子ども教室などで行なわれる「全児童対策事業」との違いも含めて、学童保育指導員の仕事に関わる基本を学びます。  <b>河野 伸枝 (全国学童保育連絡協議会)</b></p>
<p><b>講座2 学童保育の生活づくりで大切にしたいこと</b></p> <p>学童保育は子どもたちに安心感のある毎日の生活を保障することが目的の施設です。学童保育の子どもたちに対する理解を深めながら、一人ひとりの子どもと指導員との信頼関係、子どもどうしの毎日の生活で培われる関係づくり、保護者との連携を密にした生活づくりの基本を学びます。  <b>片山 恵子 (埼玉県さいたま市指導員)</b></p>
<p><b>講座3 子どもの安全対策 ☆</b></p> <p>毎日を安全に過ごすことは、生活づくりの基本です。学童保育の現場でどんなけがや事故が起きやすいか、起こさないための安全管理・事後の対策・緊急時の対応などについて学びます。また東日本大震災後、指導員全員が参画し防災・防犯の基本指針を策定した宮城県石巻市から経緯や課題を聞き、学校や地域、保護者と力を合わせて子どもたちの安全確保について学びます。  <b>山本 博美 (埼玉県草加市指導員)・門間一也 (宮城県石巻市子育て支援課)</b></p>
<p><b>講座4 保護者に子どもの生活を伝え、ともに育てる</b></p> <p>学童保育でのわが子の日々の様子を知り、育っている実感をもつことで、保護者は安心して働き続けることができます。子育てに悩んだり困難を抱えていたりする家庭を援助し励ましていくことは、指導員の大事な仕事です。保護者とともに育てていくために、伝え合うことの重要性を知り、何を、どのように伝え合うのかを学びます。  <b>岡村 美由紀 (山形県天童市指導員)</b></p>
<p><b>講座5 障害児とともに育ち合うための生活づくりー 発達障害児の理解と援助も含めて</b></p> <p>障害をもった子ども、特にLD・ADHD・高機能自閉症など発達障害児の学童保育への入所が増えています。落ち着かない、言葉の前に手が出てしまうなど「ちょっと気になる子」も年々増えています。障害についての理解を深め、受け入れにあたっての準備や課題、ともに育ち合える学童保育の生活づくりや指導員の関わり方を学びます。  <b>松浦 淳 (青森中央短期大学)</b></p>
<p><b>講座6 学童保育の生活とあそび</b></p> <p>子どもにとってあそびは、何かのためにするのではなく、それ自体が目的です。子どもにとってあそびとは何か、学童保育の生活の中でのあそびの位置付け、あそびにおける指導員の関わりや働きかけ、配慮の仕方などの基本を学びます。  <b>嘉村 祐之 (岩手県盛岡市指導員)</b></p>
<p><b>講座7 子どもの心・育ちを深くとらえる</b></p> <p>子どもたちをめぐる状況が厳しくなる中、子どもたちはいらだちや不安を募らせています。ともしれば私たちは表に現れる言動にとらわれ、問題行動と否定的にとらえがちです。その子はその行動で今何を伝えようとしているのかを考え、子どもの願いや心に寄り添い、理解しようとする大切さを学びます。  <b>新妻 二男 (岩手大学)</b></p>
<p><b>講座8 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題</b></p> <p>学童保育の量的・質的な拡充が求められています。国は、学童保育の利用児童を5年間で46万人増やす目標を立て、さらに制度の見直しも行ないました。指導員の安定的確保、仕事の確立、配置・体制の整備、待遇の改善などの課題に、国や市町村はどう向かうべきなのか。私たちの課題も含めて学びます。  <b>真田 祐 (全国学童保育連絡協議会)</b></p>
<p><b>講座9【特別講座】震災後のこどものストレスマネジメントと指導員のメンタルケア ☆</b></p> <p>東日本大震災直後から宮城県内沿岸被災地に入り、子どもたちの心に寄り添う活動を続けている講師から、抱えきれないほどの大きな体験をした子どもたちにしばしばみられる行動や、そうした子どもたちに対して心がけてすべきことは何か、してはいけないことは何かなどを学びます。同時に、支援する側の指導員のメンタルケアについても、学んでいきます。  <b>佐藤 秀明 (NPO ここねっと発達支援センター緊急子どもサポートチーム代表)</b></p>